

既設発電用原子炉施設の耐震安全性評価実施計画書の見直しについて(概要)

経済産業大臣より、平成 19 年新潟県中越沖地震を踏まえた対応として、既設発電用原子炉施設の耐震安全性評価について、実施計画の見直し等の検討をするよう求める指示文書が出されました。この指示文書に基づき、耐震安全性評価の実施計画を見直し、本日、経済産業省に報告しました。

1 実施状況

既設発電用原子炉施設の耐震安全性評価として、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所において、敷地周辺で発生する地震に関して、調査結果等の収集・検討を実施しています。

敷地近傍および周辺陸域の地質調査としては、文献調査、空中写真判読、地表地質調査等を実施しました。特に、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所においては、耐震設計上考慮している双葉断層について、その南限付近でボーリング調査を実施済みであり、現在、北方延長部についての地表地質調査を実施しています。また、柏崎刈羽原子力発電所においては、発電所敷地および発電所近傍に位置する柏崎平野で反射法地震探査を実施しました。

海域の地質調査としては、文献調査、他機関が実施した音波探査記録の再解析等を実施しています。

今後は、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所の敷地周辺陸域において反射法地震探査を、海域において海上音波探査を実施します。

また、この耐震安全性評価にあたっては、平成 19 年能登半島地震、平成 19 年新潟県中越沖地震等から得られる知見を、必要に応じて適切に反映します。

2 見直し工程

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所については、平成 20 年 3 月末までに、それぞれの代表プラントで実施してきた耐震安全性評価の概略について、中間報告を行います。

見直し工程(予定)を下記に示します。

発電所名等	見直し工程(予定)
	▼ 平成 18 年 9 月 耐震安全性評価指示 ▼ 平成 19 年 7 月 新潟県中越沖地震指示
福島第一原子力発電所 1 号機～6 号機 地質・地盤調査 耐震安全性評価	平成 20 年 3 月 平成 20 年 3 月 中間報告 平成 21 年 6 月
福島第二原子力発電所 1 号機～4 号機 地質・地盤調査 耐震安全性評価	平成 20 年 3 月 平成 20 年 3 月 中間報告 平成 21 年 3 月
柏崎刈羽原子力発電所 1 号機～7 号機 地質・地盤調査 耐震安全性評価	平成 20 年 3 月 柏崎刈羽原子力発電所の耐震安全性評価については、平成 19 年新潟県中越沖地震を踏まえ実施し、逐次報告

3 参考(自主的な検討)

上記の耐震安全性評価とは別に、当面の自主的な検討として柏崎刈羽原子力発電所で観測されたデータを基に、設備に与える影響の概略検討(観測データを用いた概略検討)を実施し、1ヶ月を目途に報告する予定です。